

はじめに

当商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
最初に、本取扱説明書と、ご注文された製品及び納品された製品と一致しているかご確認ください。
一致していない場合は、恐れ入りますがご購入された販売店にご連絡ください。
安全にお使いいただくために本取扱説明書の注意事項を必ずお読みください。

本品は弊社電源用サージ防護デバイス (SPD)、MC、MCD、V シリーズのモジュールを検査する装置です。
本取扱説明書では使用上の注意事項と装置の操作、取扱方法について説明しております。

安全上の注意

- ・お客さまや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくためにお守りいただきたい事項を記載しました。
- ・機器操作の前には、この取扱説明書と他の必要書類を必ずお読みいただき、よく理解した上、正しくお使いください。また本取扱説明書は、必要な方がいつでもお読みいただけるように保管してください。
- ・ここに示した注意事項は次のように区分しています。安全上に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

危険 誤った取扱いにより、死亡や重傷など重大な事故に結びつく可能性があります。

注意 誤った取扱いにより、障害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があります。状況により、さらに重大な事故に結び付く可能性があります。

危険

- ・本品のカバーを取らないでください。火災、感電などの事故や故障等の原因となります。
- ・測定端子部、コネクタ、ケーブルの金属部に触れないでください。感電などの事故や故障等の原因となります。
- ・本品を分解・改造・解体しないでください。火災、感電などの事故や故障等の原因となります。
- ・本品をご自分で修理しないでください。火災、感電などの事故や故障等の原因となります。
- ・濡れた手で本品に触れないでください。火災、感電など事故や故障等の恐れがあります。
- ・多湿な場所や結露する場所、また水が直接かかる所で保管、使用しないで下さい。火災、感電など事故や故障等の原因となります。
- ・本取扱説明書に記載された仕様の電池をお使いください。誤った取扱いは火災、事故や故障等の原因となります。
- ・煙が出たり、臭異がする場合は、直ちに電源を切ってください。火災、感電などの事故や故障等の原因となります。
- ・小さなお子様が手を触れない場所で操作、保管してください。火災、感電などの事故や故障等の原因となります。

注意

- ・本品の使用目的以外では使わないでください。事故や故障等の原因となります。
- ・本品は取扱いを熟知した人が操作してください。事故や故障等の原因となります。
- ・ご使用前に本品の、コネクタ、ケーブルに損傷がない事をご確認ください。損傷のあるコネクタ、ケーブルでの操作は事故や故障等の原因となります。
- ・必ず付属のコネクタ、ケーブルをお使いください。事故や故障等の原因となります。
- ・筐体に変形、ひび割れ、変色などの異常がある場合は使用しないでください。事故や故障等の原因となります。
- ・本品に落下などの衝撃を与えないでください。事故や故障等の原因となります。
- ・本品は室内専用ですので、室外での使用はしないでください。正常に動作せず、火災、事故等の原因となります。
- ・適正な電池、温度範囲など製品仕様にあった環境でご使用ください。事故や故障等の原因となります。
- ・衝撃、振動、鉄粉、粉じん、腐食性ガスなどの環境での保管、使用はしないで下さい。火災、事故や故障等の原因となります。
- ・強電磁界や外来ノイズの多い場所での使用はしないでください。誤動作、故障等の原因となります。
- ・本品の上に他の機器を置かないでください。事故や故障等の原因となります。
- ・本品はプラスチック、金属等で構成されています。廃棄する場合には資源リサイクルルールに従って処理してください。

モジュール検査に際しての注意

・絶縁検査ボタンを押している間は、高電圧 (950V) がコネクタ、ケーブルに印加されています。絶対にコネクタやケーブルの金属部に触れないでください。感電など事故の原因となります。

V50,V25,V20,V10 モジュール検査

- 検査手順
1. モジュールをユニットから取り外して検査してください。
 2. ロータリースイッチ①が "OFF" の位置にあることを確認してください。
 3. ロータリースイッチ①をモジュールの型式に合った位置のセットしてください。(V10/V20 と V25/V50 でセットする場所が異なりますのでモジュール型式とロータリースイッチの位置が一致している事をご確認ください。)
 4. モジュール検査口②に検査モジュールを差し込んでください。
 5. 測定値が測定値表示パネル③に表示されます。
 6. 表示値がモジュールの最大連続電圧に応じた許容値範囲 (右表) にあることを確認してください。
 7. モジュールを抜き、表示値がモジュール裏面に印字された値の±10%以内であることを確認してください。
 8. 上記 "6,7" を満たすモジュールを検査合格とします。
 9. ロータリースイッチ①を "OFF" の位置にしてください。

複数個のモジュール、ユニットを検査する場合は上記手順 "9" の後、手順 "3" ~ "9" を行ってください。

イソラボ (ISOLAB)

- 特長
 - ・バリスタ式デバイスを簡便に検査
 - ・Vシリーズのモジュール (バリスタ式 SPD) を本装置に差しこむだけで動作開始電圧を表示
- 使用目的
 - イソラボは弊社電源用サージ防護デバイス MC、MCD、V シリーズのモジュールを検査する専用テスターです。

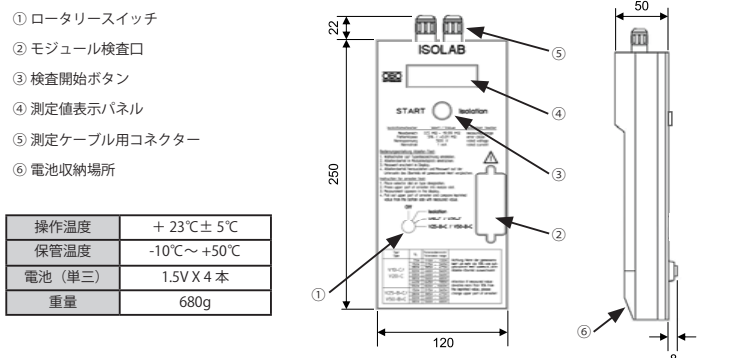
モジュール検査仕様

Vシリーズ (バリスタ) 検査仕様

テスト電流	V10-C V20-C	1mA
	V25-B+C V50-B+C	3mA
測定レンジ	0V ~ 999V	
測定精度	± 1% ± 1 ボルト	
最大テスト電圧	999V	

付属品：コネクタ付きケーブル (赤、黒色各 1 本)

外形寸法図と装置各部の名称



- 電池交換：
交換が必要になると測定値表示パネル④に電池交換の表示があらわれます。
1. ロータリースイッチ①が "OFF" の位置にある事を確認してください。
2. 電池収納場所⑥を適正なドライバーで開け、単 3 乾電池 4 本全てを新しいものと交換してください。(充電式の電池は使わないでください。故障、事故の原因となります。)
3. 電池は 1 年ごとに新しいものに交換してください。約 3,000 回の測定が出来ます。
4. 乾電池の液漏れを発見した場合は、弊社にご連絡ください。

- クリーニング：
筐体が汚れた場合は水を含ませた柔らかい布で拭きとってください。(ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で拭かないでください。)

判定基準

■ V50,V25,V20,V10 の判定基準
表示値が下記のモジュール型式、最大使用電圧に応じた許容値範囲内であり、且つモジュール裏面に印字された値の±10%以内であれば検査合格とします。

型式	最大連続電圧 Un	許容電圧範囲
V10-C/V20-C	75V	110V ~ 130V
	150V	215V ~ 265V
	280V	385V ~ 475V
	320V	460V ~ 560V
	335V	460V ~ 560V
	385V	560V ~ 680V
	440V	645V ~ 785V
V25-B+C/V50-B+C	550V	820V ~ 1,000V
	150V	215V ~ 265V
	280V	385V ~ 475V
	320V	460V ~ 560V
	385V	560V ~ 680V

製品の保証

- 無償保証期間
製品の無償保証期間は、販売後 1 年です。
- 保証範囲
天変地異による故障、破損や誤った取り扱いによる故障、破損については、無償保証範囲外とさせていただきます。また本製品の測定に基づき行った作業費用、およびそれにより発生した費用、損害については当社の補償範囲外とさせていただきます。

OBO ベターマン輸入総代理店
株式会社イーユーテック
〒 253-0105
神奈川県高座郡寒川町岡田 3-4-2
TEL: 0467-40-4666 FAX 0467-72-5668
URL: <http://eyeson.jp> Ver 1207

取扱説明書の内容はメーカーの仕様変更等により、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。
本書の一部または全部を無断で転載、複製する事は固くお断りします。